



■今月の PICK UP

令和7年 新年のご挨拶

■REPORT

新年のご挨拶
副院長就任・総合診療医就任の挨拶
患者相談窓口のご紹介
教えて!片渕Dr.《Vol.10》

感染症患者等移送訓練
部活動紹介/フットサル
花壇植え替えました
季節をいただく行事食

令和7年

新年のご挨拶

新年 明けましておめでとうございます。皆様健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

世間を騒がせ続けた新型コロナ感染症も、令和5年5月から「5類感染症」に位置づけられ、段階的な移行の後、昨年の4月からは通常の医療提供体制となり、一見 落ち着きを取り戻したようにも感じられます。しかし、この年末・年始にも新型コロナ感染症だけではなく、インフルエンザも増加し、院内感染対策強化継続を余儀なくされる現状です。引き続きのご理解、ご協力の程宜しくお願いいたします。

さて、早いもので、昨年の4月に院長を拝命して、9カ月が経ちました。右も左もわからない状態での出航で、病院職員の皆さんの底力を信じ、ただ会合のたびに月々の状況をお話しては「頑張って!」と励ますことしかできませんでした。職員皆さんの努力のおかげで、病院としては健全経営が維持できております。この病院としての底力を基盤に、今年は『効率化・合理化』を積極的に進めていくことを目標としていますが、そのためにも、4月には3人目の副院長を迎え、新しい視点を追加する予定です。人吉・球磨地域の人口が減少するなかで、5年後、10年後の当院のあるべき姿を見極めるべく、昨年以上に院長として努力していく所存です。

最後に、人吉医療センターは職員全員が「地域の中核医療機関として、より信頼される医療を提供する」という共通目標をもって、力を合わせてまいりますので、本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

JCHO人吉医療センター院長
薬師寺 俊剛



就任のご挨拶



たうら なおひろ

副院長 総合診療科部長 田浦 尚宏

2002年に自治医科大学を卒業し、自治医科大学の設立の目的である「地域における総合医」として従事してきました。2010年に人吉総合病院へ赴任し、「全人医療」を実践し、2015年度から総合診療部を発足しました。安心・安全な地域医療を目指し、人吉球磨と三県境の地域を支えたいと考えます。



り みんじゅ

総合診療科 李 民樹

この度総合診療科に着任した李民樹です。

2013年に鹿児島大学医学部を卒業し、主に小児医療や感染症対策の現場に携わりました。2023年から1年間だけロンドン大学へ留学しておりましたが、2024年10月からは人吉医療センターの総合診療科で非常勤として勤務させていただいております。これからも皆様に安心安全な医療を提供できるよう努めてまいります。

総合診療科とは

総合診療科は、人々の健康問題に全身的・総合的に幅広く対応する診療科です。地域のニーズにあわせ、安心・安全な地域医療を実践できるように診療を行います。

少子高齢化社会において、複数の健康問題を併せ持つ「多疾患併存」状態に対し総合的な診療を行うことが多くなり、地域の医療機関や在宅医療とも協力して多職種で医療・保健・福祉を検討し、医療提供いたします。

急に発生した健康問題や、治療している疾患の急な病状変化にも対応できるように積極的に救急診療に関わり、総合的な評価を行い、専門診療科における医療提供が必要なときは協同して診療計画を行います。原因があきらかにならない病態、診療にあたる診療科があきらかではない病態、地域の感染症、慢性疾患の管理、へき地医療、予防医療など、全人的医療、多職種医療、地域の医学教育により地域住民の健康を継続してサポートします。



平成23年より人吉医療センターが指定管理者となっている「五木村診療所」。近隣に医療機関がない地域でも、保健福祉と連携しながら安心・安全な医療を提供しています。

お困りのかたは総合診療科へ

痛みや症状があるけどどの科に行けばいいかわからない。

幅広い視野で患者さんを診て最適な医療を提供します

ひとつだけでなくいくつもの病気を抱えている



「患者相談窓口」をご存じですか？

皆さんは『患者相談窓口』がどこにあるか、どんなことが相談できるかご存知ですか？
当院では、患者サポート相談窓口、通称『患者相談窓口』を1階受付横に設置しており
さまざまな患者さんのご相談に応じたサポートを行っています。



私は一人暮らしで
入院申込書の書類を
頼む人がいない。
どうすればよいか？



先生から
説明を聞いたけど
その時は頭が真っ白で……
もう一度聞けないかなあ。

こんなお困りごとはありませんか



治療や入院費って
いったいどれくらい
かかるんだろう？



好きなものも
食べたいけど
退院後の食事について
どこで相談したらいい？



その他にも……

「がんと言われたが、治療するには仕事を辞めなければならないのだろうか」
「希望する病院に紹介状を書いてもらえるのか」など、
病気や治療、医療やケアに関連する疑問やご相談はございませんか。

「相談したいけど、どこに相談したらよいかわからない」
そんなときにはぜひ『患者相談窓口』をご利用ください

患者さんの？にお応えするのが「患者相談窓口」です

「患者相談窓口」では、窓口担当者が患者さんのお困りごとをおうかがいし、医師や看護師をはじめ専門スタッフと連携をとりながら解決を図ります。また、院内のカンファレンスや各部署との連携を通して、対策や改善に向けた取り組みの強化も行っております。

さまざまな職種が連携



看護師

入院される患者さんに応じた療養支援計画を作成し治療や入院生活について説明を行っています。入院中は病院生活でのお困りごとの解決を図り、退院後も安心して療養や生活が送れるよう支援を行います。



医事課

入・退院のご案内など事務手続きの説明を行います。必要な提出書類の記載についてや、高額医療限度額認定書についても、わかりやすく丁寧な説明を心がけています。



社会福祉士

患者さんやそのご家族、ケアマネージャーや地域の医療機関等とともに、退院支援や退院調整を行います。退院後も患者さんが望む場所で安心して生活できるように、サポートを行っています。

「患者相談窓口」からさまざまな支援へ

「患者相談窓口」では「がん相談支援センター」や「療養・就労両立支援窓口」などを併設しています。がんと診断された患者さんや、療養や就労に不安を感じていらっしゃる患者さんも、まずは窓口まで。医療・看護・介護と切れ目のないさまざまな支援で患者さんに寄り添います。

どうぞ、お気軽にご利用ください



★患者相談窓口は1階にあります



正面玄関

コンビニ

患者相談窓口

トイレ

受付

問診ブース



1F 受付前

画像診断センター



時間外受付
(Qネット)



救急外来

【患者相談窓口開設時間】

月曜～金曜（祝祭日を除く）

8:30～17:15

※休日・夜間は、管理当番（看護師）が承ります。

ご予約は不要です
お気軽にどうぞ

患者相談窓口／鶴田真奈美



教えて!片渕Dr.

Vol.10

下腹部に何か硬いものがある、生理の量が多い… それって子宮筋腫では？

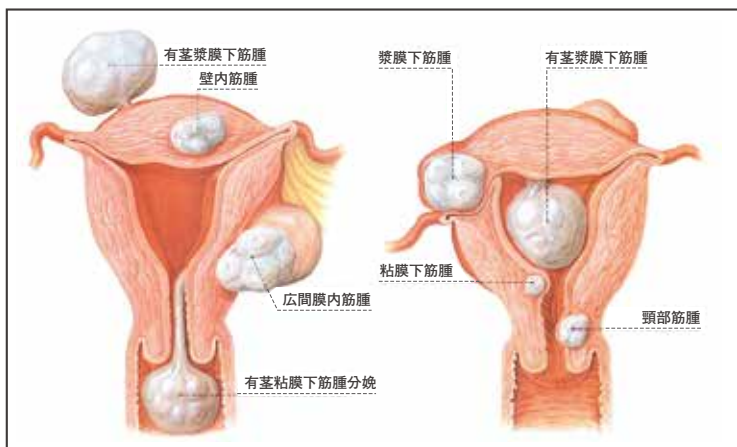
産婦人科 片渕 秀隆

20代から40代の女性で生理がづらい(月経困難症)場合の原因として考えられるのは、以前ご紹介した「子宮内膜症(2024年夏号・No.622)」や「子宮腺筋症(2024年秋号・No.623)」の他に、「子宮筋腫」があります。子宮筋腫は、女性に最も多い良性の腫瘍(平滑筋腫)で、子宮がん検診の際や人間ドックなどでの画像診断で初めて指摘された方もあるでしょう。貧血や不妊の原因を調べる中で発見されることもあります。良性の疾患ではありますが、筋腫の大きさや発生する場所によっては様々な症状が出るため、治療を必要とすることもあります。

筋腫の大きさは数mmから10cm以上になるものもあり、数も1個から数十個まで様々です。筋腫の約95%が子宮体部(赤ちゃんの育つところ)に発生しますが、多い順に、筋層内筋腫、子宮の外側に突出する漿膜下筋腫、子宮内膜側に発生する粘膜下筋腫に分けられます。約5%は子宮頸部に発生します。症状は、① 生理の量が多い(普通のナプキンで1時間持たない、血の塊が混じる)ことによる貧血。毎月この状態であると鉄欠乏性貧血になります。② 大きくなった子宮による圧迫症状。子宮の前にある膀胱を圧迫すると頻尿になり、後ろにある直腸を圧迫すると便秘になります。③ 筋腫のあることが受精や着床を妨げることによる不妊。筋腫のある状態で妊娠すると、流産や早産、胎児死亡や胎盤早期剥離、分娩後の大出血や産褥熱などのリスクが増えます。数か月という短期間で急に大きくなり痛みや出血のある場合は悪性の子宮肉腫であることもあり、的確な診断が大切です。

筋腫の発生にはエストロゲン(女性ホルモン)が大きく関わっています。エストロゲンを低下させるホルモン剤(偽閉経療法)で一時的に出血を抑え、貧血を改善し筋腫を縮小させることは可能ですが、根本的な治療は手術です。上記の①②③の状況に応じて、筋腫のみを摘出する筋腫核出術や子宮の全摘出術が選択されます。筋腫の状態の評価や子宮肉腫を見逃さないためにMRI検査が非常に有効です。

40歳以上の女性の20~40%には筋腫があると言われますが、多くの方は自覚症状もなくそのまま閉経を迎え、閉経後の筋腫は徐々に小さくなっていきます。よくある病気ではありますが、正確な診断と適切な治療方針の決定、定期的な診察が大切ですので、産婦人科の専門医にご相談ください。



『イラストでみる子宮内膜症(蜂屋祥一監修)1988年』より引用



『ネッター医学図譜 第2版 2011年』より引用

2025
1/17

適切に、速やかに、患者移送シミュレーション 人吉保健所、下・上球磨消防組合、行政と合同「感染症患者等移送訓練」

令和7年1月17日(金)当院の3階講堂、屋外スペース(コンテナ外来)等で感染患者等移送訓練を実施しました。人吉保健所管内の医師や看護師、消防職員、行政職員ら約70人の参加がありました。

当院は、熊本県の新興感染症の新規発生に備えて、熊本県人吉保健所、人吉下球磨消防組合、人吉上球磨消防組合と患者移送に関する協定を結んでいます。この協定に基づき新興・再興感染症の患者等が発生した際、適切な患者移送及び検体搬送が行えることを目的として定期的に訓練を実施しています。今回、関係機関とともに新興・再興感染症についての知識を深め、防護服の着脱訓練や患者搬送訓練を行い、役割分担を確認しました。

熊本県人吉保健所の木脇弘二所長より新興・再興感染症の現状と対応についての講話をしていただき、感染症法上の扱いや分類、症状、感染疑いの国内事例などの紹介がありました。防護服の着脱訓練では実際に手袋、ガウン、ゴーグル、靴、N95マスク等を着装。移送訓練では、今回、地域の医療機関からの患者発生報告を受けて、原因不明の感染症の疑いのある患者を想定して、患者等を収容する機材「ソフトアインレーター」の使用方法や酸素投与の方法、検体採取、搬送の手順などを確認し、的確かつ確実に伝達する訓練を実施しました。

今後も保健所、消防機関などの関係機関との連携をより一層深め、平時から感染疑義者が地域の医療機関を利用する想定で引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

人吉医療センター 感染制御チーム



防護服等の着脱に細心の注意を払う参加者たち。 ソフトアインレーターを使用し搬送の手順を確認。 顔面部には「リヒカ」を設置し圧迫感を解消。

「ケガなく楽しく」がイチバン★部員大募集集中です!

部活に夢中★



さまざまな職種のメンバーとの交流も、部活ならではの楽しさ。

[フットサル部]

はじめまして、私たちはフットサル部です。毎週火曜日19時から旧看護寮体育館にて活動しています。部員はサッカー未経験者が多数であり、女性部員も多く所属しています。職種もドクター・看護師・薬剤師・コメディカルと様々です。最近ではユニフォームを作成したり大会に参加したりと活動を積極的に行っています。部活といっても『ケガなく楽しく』が一番なのでその日のメンバーに合わせた練習を行っています。ただフットサルを楽しむ活動ではなく、フットサルを通して普段接することのない他職種のメンバーとの交流の場やストレス・運動不足解消の場となれば良いと考えています。

いきなりフットサルは…という方
まずは見学にいらしてください。
未経験者も大歓迎です!



「カッコイイでしょ。」新しいユニフォームでキメてみました!

花壇植え替えました

12月7日、地域協力会の方々に今回も花壇の植え替えを行っていただきました。夏から秋に立派に咲き誇った花々から一転、冬仕様に耐寒性のあるかわいらしい植物になりました。地域協力会の皆様には毎日の水やり、虫取り、草むしりなど毎日毎日植物たちをかわいがってくださり、本当に感謝いたします。

沢山の植物に癒されながら今年の冬も、寒さに負けず元気に過ごしたいですね。



地域協力会の皆さんと当院リハビリスタッフ(左から二番目)



冬の寒さもへっちゃんらのパンジーやヒナギク



Instagram はじめました!



臨床研修や看護教育をはじめ病院で働くスタッフの紹介など当院の雰囲気発信していきます。ぜひフォロー&いいね♡よろしくお願いします!



「クリスマスディナー」と「おせち料理」

季節をいただく行事食



年末年始は、日本でも特別な行事食が並ぶ季節です。当院でも患者様に食事を通じて少しでも季節を感じ、特別な時間を過ごして頂けるよう「クリスマスディナー」と「おせち料理」を提供しました。

クリスマスディナーは、クリスマス気分を盛り上げるローストチキンをメインディッシュにサラダ、まるやかなクリームスープ、そしてデザートのカッキーが彩りを添えます。たくさんの喜びの声を頂き、私たちも心から嬉しく思いました。食事はただの栄養補給にとどまらず、患者様の心を豊かにする大切な時間であることを再認識しました。

また、正月は雑煮から始まり、黒豆や数の子、紅白なます、伊達巻きなど、新年を迎えるにふさわしい、縁起の良いものをそろえたおせち料理を提供し、新年を感じていただけたことと思います。

今後も食事を通じて、少しでも患者様の笑顔を増やし、療養生活をより良いものにできるよう、栄養管理室一同心を込めてサポートしてまいります。

理念 145年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療
患者の人権と意思を尊重します
診療3本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります
完結型医療
地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します
社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います
医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

臨床研修理念

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的役割を認識しつつ、臨床に必要な基本的診療能力を習得し、全人医療を提供できる医師を目指します。

臨床研修の 基本方針

1. 人間性豊かな医療人の育成
2. 医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人の育成
3. 患者の立場に立った医療を実践する医療人の育成
4. チーム医療のできる医療人の育成

5. 生涯学習をする医療人の育成
6. 地域医療に貢献する医療人の育成
7. 公的中核病院としての責務を自覚する医療人の育成

